

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、ドイツを拠点に活動する演劇作家、パフォーマーのオリバー・ツァーン氏をお迎えいたします。

オリバー・ツァーン氏は、広範なフィールドワーク、アーカイブ調査と自己実験に基づいた作品を制作してきました。これまでの代表作には、「ヒトラー式敬礼」の身振りの文化史を扱った『SITUATION WITH OUTSTRETCHED ARM』(2015年)、社会を前進させるための営みとしての「忘却」をテーマにした『IN PRAISE OF FORGETTING』(2019年)およびそのデジタル空間版(2020年)、そして、過剰な手洗いなどの「強迫的な儀式」を通して衛生に関する社会的・医学的言説を扱った『PURITY』(2024年)などがあります。

今回の来日では、自然の力や景観が人類の歴史や社会に与える影響を扱う一連の新作に向けた、出発点となるリサーチを予定しています。具体的には、東日本大震災以降に建設された東北地方の防潮堤や、現代の免震・耐震構造建築など、「防災」に関わる様々な施設や構造物を巡るフィールドワークが計画されています。また、関連するテーマを扱うアーティストや芸術関係者との対話を通じ、将来的なコラボレーションや創作・発表につながるネットワークの構築にもつなげていきたいとお考えです。

滞在期間中、本テーマに基づいて日本の舞台芸術の状況や背景などを理解していただくため、舞台芸術関係者との交流を予定しております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在テーマ 防災 (DISASTER PREVENTION)
- 滞在期間 2026年2月2日(月) – 3月8日(日)
- 滞在場所 森下スタジオ(東京都江東区森下3-5-6)

※ 2026年2月5日(木)に、森下スタジオにてトークを開催する予定です。

詳細はウェブサイトで発表します。



©Gedvile Tamasiunaite

オリバー・ツァーン／Oliver Zahn (ドイツ)

演劇作家、パフォーマー

これまでの作品に、『SITUATION WITH OUTSTRETCHED ARM』(2015年)、『IN PRAISE OF FORGETTING』(2019年)、『PURITY』(2024年)など。Tanzplattform Deutschland、steirischer herbst、IMPULSEといったドイツ語圏で有数のフェスティバルや、HAU(ベルリン)、ムーゾントゥルム(フランクフルト)、ミュンヘン・カンマーシュピーレなどの主要劇場で上演を重ねている。その活動はドイツ国内にとどまらず、ベルギー、オランダ、英国、フランスなどの欧州各国から、チリ、アルゼンチン、ヨルダン川西岸、インドに至るまで、国際的にも上演をおこなっている。2022年にはヴィラ鴨川(京都)に滞在し、靈山観音像と耳塚についてリサーチを行った。

公益財団法人セゾン文化財団

〒135-0004 東京都江東区森下3丁目5番6号 TEL 03-3535-5566 / FAX 03-3535-5565